

輝やかしい高知縣道路愛護運動を見る (一)

梅田 三郎 平

はしがき

高知縣に於ける道路愛護運動は昭和十四年四月に始まり其の起因は極めて日子淺いが發展は頗る迅速である。縣下愛護會に於ては年數回に渉る活動を繼續し會員各位は道路を維持することは會員の特權であり榮譽であると考へて居る。特に國民精神總動員の運動起るや縣は全國に卒先して勤勞精神を普及するため道路愛護強調週間を實施し偉大な成果を收め得た。その盛況は既に本誌を通して報導したが、その後國民精神總動員第二回道路愛護強調週間は昨年八月二十日より二十六日迄實施し更に本年二月二十日より二十六日迄第三回國民精神總動員道路愛護強調週間を施行した。本縣にては將來年に二回(二月と八月)の道路愛護

強調週間を實施することになつて居る。本縣の道路愛護は從來各府縣に行はれて居る様に單なる道路掃除と云つた觀念は過ぎて道路は我等の道路である、我等の門口の延長であると云ふ自覺が縣民に漲つて居る。又之れを指導する縣に於ても單に土木當局のみの活動に委ねず産業知事として令名高い小林長官閣下自ら陣頭に立つての大運動であつて各部長及關係課長は縣下各町村を漏れなく分擔巡視して激勵し作業の指導は加藤土木課長統卒の下に五班に分れ各土木出張所主幹と緊密なる連絡を保ち各現場にては土木出張所員は所定分擔町村に出張し市町村長を首め道路愛護會長、在郷軍人分會長、男女青年團長、消防組頭、中等學校長、實業青年學校長、小學校長、愛國婦人並國防婦人會長

土佐勤勞奉仕隊長等總ての市町村團體の首腦部と週間前に各々作業方法、作業日時に關する打合せを爲し一糸亂れざる指導陣を樹立して居る。従つて其の成績は眞に輝やかしいものがある。本奉仕作業中特筆すべきものは各作業團體

共記念すべき作業計畫を樹て其の作業が完了する迄は幾日でも團員出勤して完成させると云ふ美しい協同精神力を發揮して居る、お義理通りに掃箒でナデ廻す様な作業は樂にしたくも見當らなかつた。その中主なる作業を舉げれば道路の曲所是正、待避所新設、勾配の切下、法面築立、石垣の修理、暗渠の布設、災害の小破復舊等であつて砂利の採取運搬の如きは各團體共實行し馬力業者、トラック業者は空車奉仕と稱して作業團體が採取したる砂利を次から次に適當の箇所へ小運搬されて縣民各位が横に縦に圓滿なる協同作業が遂行される様は到底口や筆で讚へることが出來ない程であつた。殊に各團體が作業箇所に応じて人員を配置し作業能率に注意を注ぎたる點などは現場に於ける土木出張所員の指導宜しきを得たとは謂ひ團員各位が非常時局を

自覺して道路愛護の銃後戰闘に従事したことがハツキリと認められキビキビとした作業振りには唯感激の外なかつた。

如斯本縣の道路愛護運動が短日月の間に輝やかしい發達を遂げたことは縣民各位の協同心並に公物愛護の觀念が強いことは勿論であるが、他方指導監督の掌にある小林光政長官閣下を首めとし各部課長の心魂を打ち込んでの指導と直接指導の任に當る町村指導員各位の獻身的努力に外ならんものである。凡そ大衆運動としての道路愛護の如きは口や筆の先で美辭麗句を連ねたところで發達するものではない。熱と力とに依つて指導者自からが先頭に立つて引摺つて行くところに意義がある。近頃官吏獨善などと云ふ言葉で官吏が釘付けされて居る様だが實行力の無い官吏が聽えた振りをして口や筆先で句足らぬ理屈を謂ふから騒がれるのである。眞の指導者である限り官吏は獨善と謂はれる位で宜しい。私は官吏は總て大我的獨善たれと主張するものである。官吏は善きと惡しきを判然と見分け眞の善きを信

じたる限り他から獨善と謂はれ様が横暴と懸がれ様がそんなことに拘泥する必要はない。鐵心を以て非常時を背負ひ立ち下シドシと民衆を指導して行くと謂ふ不動の覺悟が必要である。その意味に於て、高知縣土木課に於ては縣下百

九十八の道路愛護會を指導する課員は自ら道路愛護を實際に行つて範を示すべきであると云ふことに一決し、國民精神總動員勤勞奉仕團なるものを結成するに至つた。團の結成後は毎月二回（第一、第三土曜日）の奉仕デーを定め府縣道梅ヶ辻朝倉線四軒間の愛護作業を實施して居る。この作業區間には修路工夫も維持修繕費も支出せず眞の勤勞奉仕に依つて維持修繕をして居る。凡そ道路愛護會の如き大衆團體を指導せんとするのは自からが陣頭に立つて名實共に指導者でなければならぬ。この熱と力さへあれば大衆は黙々と追従し來るものである。然るに今日の官吏の中には勞働をすることは勞働者のみが爲すものであるかの如く考へて居るものが多い様であるが、大變な考へ違ひである。斯様な誤つた考へを有つて居る人間に限つて青白い顔

をして麻雀や玉突をやるとか室内に閉ぢ籠つて他人の批評に花を咲かせ甚しい者になると麻雀賭博までやり兼ねない馬鹿者が多い。斯る事では到底非常時日本の銃後を守ることは愚か寧ろ手足纏ひである。

これからの役人は何事によらずキビキビと正しい行動を爲さねばならぬ。特に府縣の土木行政に立觸る者に於てをやである。

私の見て來た府縣には麻雀賭博をしたり、私欲の爲めに課内に黨派を造つたりして、公務を省みない者が澤山あつた。私は之等の不良分子を徹底的に排斥し眞の非常時形の役人を養成して來たが府縣土木行政を刷新する上から萬一こんなフラツキ人形があつたなら誰れ彼れの容謝なく徹底的に排斥せねばならぬ。私は高知縣赴任以來二年有半になるが、高知縣人は眞に明朗で正直で實行力が強い。これは一寸私の知つて居る府縣には見られない立派な人達揃ひである。そこに土佐魂の本領があつて明治維新の大業に於ても多くの先輩を出した原因が存するのであらう。斯る縣民

性の存するところへ加藤土木課長の様な圓滿なる人格者が、來て道路愛護運動の指揮をするのであるから發達するなど謂つたところで發達せず居らぬのだ。吾が勤勞奉仕團が加藤團長の命令一下軍隊式に黙々と行動しペンを捨て、の半日の勤勞こそは何物にも代へ難たい氣持である。私は何事も勤勞の精神あつて始めて完成し得ることを知ることが出來た。この輝やかなしい高知縣道路愛護運動の實績と土木課員の勤勞奉仕の活動情況を掲げて參考にすることにす

第一土木課勤勞奉仕團

高知縣土木課に於ける國民精神總動員勤勞奉仕團の成績左の如し。

團長訓辭

國民精神總動員ニ基キ勤勞奉仕團ヲ結成以來團員各位ノ熱心ナル奉仕ニヨリ著々好成績ヲ納メツツアルコトハ同慶ノ至ナリ

本團ノ活動ヲ一層強化スルタメ左記條項ヲ遵守セラレ度

記

- 一、毎月第一、第三土曜日ヲ奉仕デイトス但シ定日ニ差支アルトキハ第二、四、五土曜日ヲ選ビ必ズ毎月二回奉仕スルモノトス
 - 二、奉仕デイ(定日)ノ出張ハ見合スコト止ムヲ得ザル事情ニヨリ奉仕ニ參加セザルモノハ定日以外ノ土曜日ニ世話人ノ指揮ヲ受ケ奉仕スルコト
 - 三、集合時間ハ嚴守スルコト
 - 四、整列ハ一班前列二班後列ノ二列横隊トナルコト
 - 五、散解式ハ最寄ノ神前ニテ行フ
- イ、東方遙拜
ロ、默禱
ハ、團長挨拶

國民精神總動員勤勞奉仕團昭和十三年度成績表

年月日 同數 奉仕人員 奉仕時間 作業の種類 摘要

昭和十三年 第一回 四一名 自午後一時 鏡川沈下
七月二十八日 至〃 五時 砂利採取 橋下流約
一立坪餘

八月五日 二 四二 〃〃 一時半 梅ヶ辻朝倉線
 五時半 修路作業

八月十日 三 三六 〃〃 一時 倉庫整理

八月十八日 四 三二 〃〃 自午前八時 縣有林の
 至午後二時 手入

九月三日 五 三四 〃〃 自午後一時 砂利採取
 至午後五時

九月十日 六 一四 〃〃 四時半 砂利運搬
 〃〃 四時半 砂利採取
 第四回に 參加せざ
 りしもの を以て作
 業す

九月十七日 七 二六 〃〃 一時半 砂利採取

十月自三十一日 八 八八 〃〃 五時 防空壕設置
 〃〃 勤勞奉仕 參業參加

十一月十九日 八 一六 〃〃 十二時半 梅ヶ辻朝倉線
 〃〃 十二時 綠芝の整理

十一月二十六日 九 三〇 〃〃 一時 同

十二月十七日 一〇 三六 〃〃 四一時 同

計 三九五

國民精神總動員勤勞奉仕團員

一、團長 加藤平吉

一、副團長 細木兵太郎

一、副團長(代理) 梅田三郎平

第一班 第二班

班長大野謙三 班長島田善稻

外二十一名 外十九名

第二、第二回道路愛護成績

國民精神總動員第二回道路愛護強調週間作業成績調 (昭和十三年 自八月二十日 實施) 至八月二十六日

出張參加作業 所名 團體數 回數	作業延長	愛護會員	中等小學校及 學校 青年學校	男	女	計	作業時間	八時間 換算

安藝	二四	二四	一四	一	三七	一八一	一四九六	二七一	一〇三三	一三、〇〇〇	二、九九九	二五、五九九	一〇六、六三三	一四、二四六
大篠	四〇	四〇	三三	一	三三	六〇	一四八八	一	一八、三九九	一七、六五五	一五、五八二	三三、二七七	三三、四九九	二六、四三三
高知	四一	四一	三五	三三	三三	五八	二四、〇三九	一六	五、九五九	一五、八六七	一四、一五二	三〇、〇三三	三九、〇四八	二七、六三二

須崎	五	一	三六	一	二五	五四	一九七五	一	二、〇〇〇	一八、四二	二、八六六	三〇、〇〇五	三三〇、六四	二八、八六
幡多	四	一	七〇六	一	三六	一、〇三四	二四、三三	一五〇	八、四二	一七、〇六	一五、六四	三、七七八	二四、一七	二七、三三
計	一八	一八	四一七六	四	二一〇	二、二六六	九七、三〇	四元	三三、八二	二、〇〇二	六九、二九	一、〇五五	三、七六九	二八、六六

國民精神總動員第二回道路愛護強調週間特別奉仕者調査 (昭和十三年 自八月二十日 至八月二十六日 實施)

出張所名	荷物自動車	荷馬車	荷車	リヤカー	駄馬	計	備考
安藝	一	一四	一〇	八七	三四	一四五	
大篠	一	一	一	一	一	一	
高知	一	一	一	一	一	一	
須崎	三五	三一	四〇	六一	一	一六八	作業の種類は災害舊復、小破修繕、棧橋の架替、カアプ是正、勾配の切下、側溝石垣の修、砂利採取運搬、路面の清掃及不陸直し除草等を爲す、其の見積價額は約三萬五千圓なり、
幡多	一	四五	一	九	一	五四	
計	三五	九〇	五〇	一五七	三五	三六七	

國民精神總動員

第貳回道路愛護週間に際して

(昭和十三年八月廿日 各日刊新聞紙上へ)

高知縣知事 小林光政

支那事變の勃發以來已に一ヶ年を過ぎまして、我が忠勇無比なる皇軍の向ふところ海に陸に空に連戦連勝をつづけ

列國環視の裡に絶大なる戦果を收め今日に及んだのであります、此の間家を忘れ一命を捧げて君國の爲に尊き護國の人柱となられた幾多將兵の英靈に對し、敬虔なる哀悼の赤誠を捧げると同時に、有ゆる困苦缺乏に耐へて日夜健闘せられつつある勇士並に傷病將士の方々に對し心からなる感謝を表する次第であります。然るに時局の動向は如何でありませうか、御承知の如く頑敵背後の關係より致しまして時局はいよゝゝ重大を加へ、帝國不動の國策遂行のため

に長期應戰の態勢を執り、不退轉の覺悟を以て臨んで居るのであります。之については國力の總力を擧げて堅忍持久、最後の止めを刺すまで少しの油斷があつてはならないのであります。近代戰の特質については茲に一々申述べる迄もなく、有ゆる力を傾注しなければならぬのであります。が、要するに精神力の高揚と物質の充實とに俟たねばならぬ事に歸着するのであります。夙に國民精神總動員が提唱せられ、資源の保護、産業の振興により國力の充實に遺憾なきを期して居る次第でありまして、十分縣民各位の理解せられて居る所と信ずるのであります。國民精神總動員について最近に於ける尤も顯著なる現象は集團による勤行奉仕の運動でありまして、全國各地方、あらゆる階級を問はず相競つて「國家の爲」といふ崇高なる觀念の下に努力を捧げて居るのであります。國家の一大事に當つては國民各自が金ある者は金を、技能ある者は技能を捧げて難に當るべきであります。何人にも容易なるは勞力の奉仕でありまして、殊に集團的の勤勞奉仕運動は國家意識を強化する

上に極めて意義深いものがあるのであります。本縣に於ても各方面に此の種の運動が行はれ、本年二月には國民精神總動員を標榜する第一回道路愛護週間が行はれ多大の成果を收めたのであります。が、本日より更に第二回の統制ある道路愛護週間が實施される事と相成りまして、洵に時宜を得たる快舉として同慶に存する次第であります。願れば本縣に於ける道路愛護運動は既に三年の歴史を綴つて居るのであります。他府縣に於ける戰時下の集團奉仕運動に魁けて一大精神運動を擴充し、實踐躬行の範を示して參つた事は聊か誇るに足るものがあり、お互に意を強くする譯であります。どうか第一回の週間成績に優る成果を擧げて行事の意義を深からしむるやう切望して止まない次第であります。(完)

×

×